

圖~1. 1等當選住宅圖案

## 物資統制に準應したる 小住宅設計圖案に就て

審査委員長 武 富 英 一

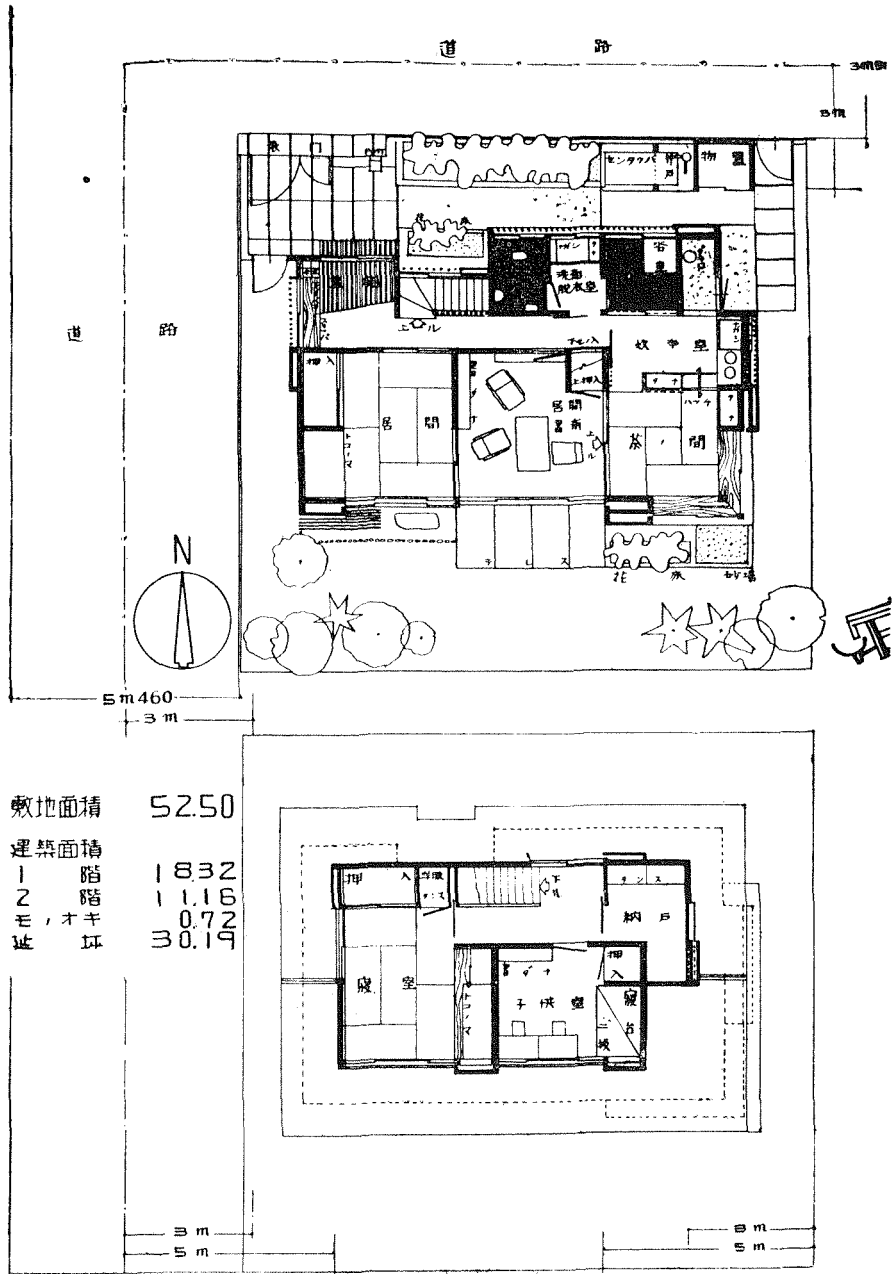
東京土木建築業組合主催にて、次の趣旨を以て懸賞募集したる小住宅圖案は、先般審査の結果を次の如く發表された。時局的に有意義なる參考資料と思はれるので、其一部を紹介する事とした。(編者)

### 小住宅設計圖案懸賞募集の趣旨

最近軍需、生産擴充産業地帯の勞務者住宅は勿論一般小住宅難は、時變下社會政策上の由々敷き問題として、之れが緩和の對策は刻下の急務であります。然し乍ら建築資材の不足から需給の不圓滑を來してゐる昨今の實情に鑑み、之れを打開するには、統制資材の有効適切なる使用に依り之を節約すると共に代用品の利用等により資材對策を考ふる事が緊要であります。組合は此趣旨に則り、此等資材對策の示唆を得んが爲に警視廳、建築學會後援の下に左記の規定により懸賞募集を致した。

### 要 綱

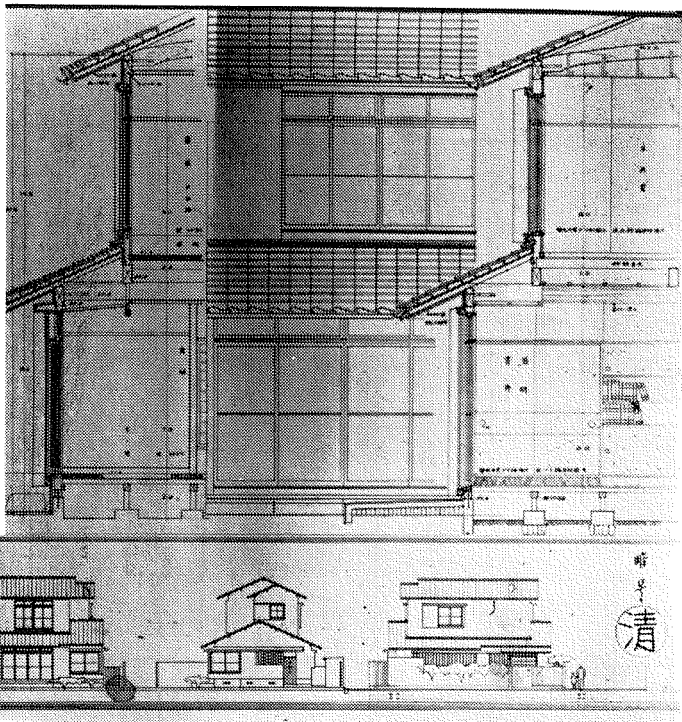
- 坪 數 延 30.25坪以下  
 構 造 木造平家建又は二階建  
 樣 式 瓦葺和風又は洋風隨意  
 單 價 1坪に付百五拾圓以上貳百圓以下  
 (但し付帶設備を含まざるものとす)
- 設計要件 市街地建築物法、鐵鋼工作物築造許可規則、鋼使用制限規則防空建築規則等の現行建築法規に適合すると共に資材對策の示唆を含むこと、位置及敷地は別掲圖面の示すが如き環境にあるものとす。



圖~2. 1等當選住宅圖案

## 審査員

警視廳保安部建築課長  
小林 隆徳氏  
建築學會副會長  
早稻田大學教授  
工學博士  
吉田 享二氏  
商工省技師  
伊藤憲太郎氏  
株式會社 島藤  
取締役社長  
島田 藤氏  
大倉土木株式會社  
社常務取締役  
建築部長  
武富 英一氏



圖~3. 1等當選住宅圖案

## 第一等當選

### 渡部氏の資材對策

一、最少の資材を以て最大の居住面積一現下の住宅難緩和の一對策として木造建築制限平面積以内に於て、有效居室面積を出來得る限り大にし、通路その他の作業部門に屬する室面積を適當に且能率的にし、各室相互の連絡を合理的ならしめ、極力動線の短縮を圖り最少限度の資材を以て最大の居住有效面積を得んとす。

二、建物の高さと資材の節約、出來得る限り無駄な空間を省き、軒高を低くし、軸材の節約及び之に附隨す壁材料の節約を圖る。

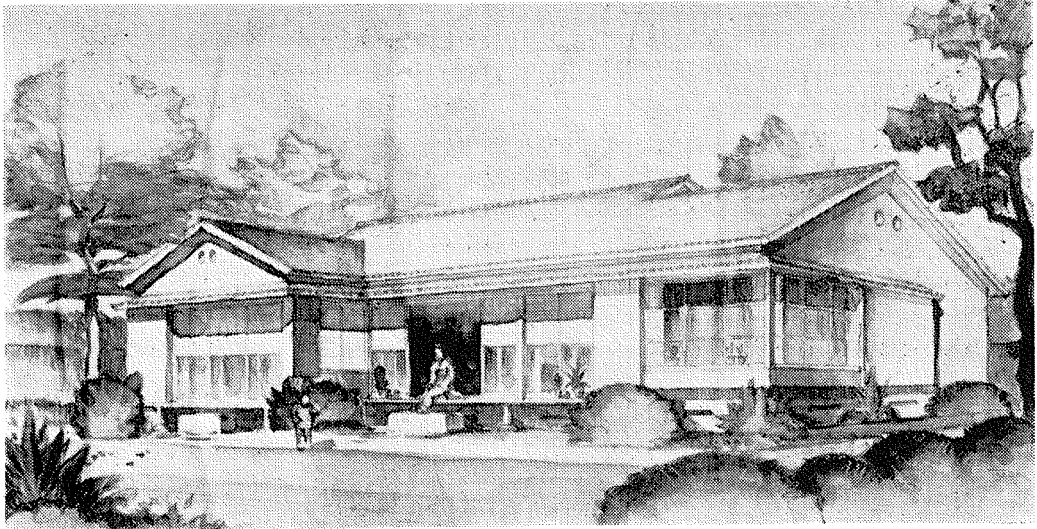
三、形の單純化と資材、工費一平面立面共に形を單純化し堅牢にして明朗なるものとして資材工費の節約を圖る。

四、亜鉛鐵板の使用節約一雨押へ雨樋等必

要缺くべからざる個所以外の平板は節約し、底を用ひざるやう設計し、或は防水層モルタル押へとす。

五、代用資材の利用一外壁モルタル壁、下地用ラスは竹ラス又はプラトンの如きものを使用し、引戸用レールは竹レールを使用し、その他の小物類はベークライト及びアルミニウム法合金製及び合成樹脂等による代用品を適材適所に使用するものとす。

六、その他構造、衛生、防空上の考慮一床下及び小屋裏等の換氣を充分ならしむること、柱の位置を合理的ならしめ筋違、機材等を充分使用すること、臺所及び浴室の腐朽に對して考慮すること、便所は田口式無臭便所とす、便所には掃出し口を附す、防空法適用地區内なるを以て、敷地境界線及び道路中心線より所定の距離以内にある建物の各部は總てモルタル塗又は耐火木材を使用し、窓の部は總て耐火木材製の雨戸を設備す。(以上)



圖~4. 2等當選住宅圖案

圖~5. 2等當選住宅圖案

